

司 式 熊 田 雄 二 牧 師  
奏 楽 大 日 南 苗 香 姉 妹

前 奏

開 会 招 詞

\* 賛 美 歌 2:1 主のみいつとみさかえとを

主のみいつとみさかえとを 声の限りたたえて

またき愛と低き心 御座にそなえひれふす アーメン

\* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 2 ( 詩 編 51 編 )

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。

わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。

罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。 (出エジプト20、申命記5)

\* 賛 美 歌 71 それ神はその独り子を

それ神はその独り子をたもうほどに 世を愛したまえり

すべて彼を信ずる者の 滅びずして とこしえの命を得んためなり

それ神は世を愛したまえり 世を愛したまえり アーメン

公 同 の 祈 禱 祈 禱 書 29 聖 餐 式 主 日 ④ 待 望

せい かみ えいこう ほま すべ  
聖なる神さま、栄光と誉れは全てあなたのものです。

あなたは、おんひとごよつか  
御独り子を世に遣わし、あなたの満ち満ちた豊かさを宿らせ、わたしたちの道・  
しんり いのち  
真理・命としてくださいました。主は、死によってわたしたちの死を打ち破り、復活によって、わ  
わたしたちのいのちか  
命を勝ち取ってくださいました。

それゆえ、わたしたちは、しゅ めいれい したが せいさんしき しゅ し おぼ しゅ ふっかつ  
それゆえ、わたしたちは、主イエスの命令に従い、聖餐式で主の死を覚え、主の復活をたた  
え、えいこう うち しゅ ふたた こ ひ ま のぞ  
え、栄光の内に主が再び来られる日を待ち望みます。

(コロサイ1～2、ヨハネ14)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 沖縄伝道を覚えて 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖書朗読 ルカによる福音書1章26～38節(新約聖書100頁)

説教・祈祷 「受胎告知」 熊田雄二牧師

\* 賛美歌 25:1 あまつみ使いよ

あまつみ使いよ イエスの御名の  
力を仰ぎて 主とあがめよ  
力を仰ぎて 主とあがめよ アーメン

\* 主の祈り 祈祷書1

てん われ ちち  
天にまします我らの父よ  
ねが み な  
願わくは御名をあがめさせたまえ  
みくに き みてん ち  
御国を来たせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ  
われ にちよう かつ きょう あた  
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ  
われ つみ おか もの われ ゆる われ つみ ゆる  
我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ  
われ ところ あ あく すく だ  
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ  
くに ちから さか かぎ なんじ  
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

\* 頌 栄 69父の御神に・御子に・聖き御霊に

父の御神に・御子に・聖き御霊に

昔ながらの御栄えあれや ときわに アーメン アーメン

\* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告

古澤純一長老

講解説教のおかげで、まだ降誕節に入ってもいないのに、クリスマスの説教を行なうことになりました。でも、これくらいの時期にやって、やっと隣のスーパーマーケットに勝った、という気がします。まあ、ムキになることはないですが、ちょっとした快感です。世の中にはびこっているクリスマスは、時期においても飾りものにおいても、はるかに教会をしのいでいます。

## I 天使とは

「受胎告知」の場面は、たくさんの絵があります。マリアの所に天使ガブリエルが、舞い降りて来るように登場します。天使には羽が生えている絵が多いですが、天使は体を持たない靈的な存在なので、羽は必要ではありません。ルカは「神から遣わされた」とだけ言っています。

しかし、絵を描く場合は、羽が生えていないと、人間と天使の区別がつかないでしょう。そもそも天使には体がないなら、なぜ人間のように見えるのでしょうか？ 聖書に登場する天使は、人間の姿で見えることもあれば、声だけの時もあります。名前が付いている天使もいれば、付いていない天使もいます。良い天使もいれば、悪い天使もいます。「悪い天使」というのは変ですが、ヨブ記を読むと天使たちの中に悪魔も混じっています。新約聖書でも、ペトロの手紙に「罪を犯した天使たち」とあります（第二ペトロ2：4）。それ以上は、よく分からないのです。

聖書を読んで分からないことは、それ以上分かってしようとするなということに、神の御心があります。無理に分かるようになると、御心とは違う方向に行き本を書きたくなる人が出てきて、怪文書が聖書の一部であるかのごとく出回るようになります。だから注意してください、ということから、ルカは福音書を書き始めています。

天使のことばかり考えて、遂に天使を礼拝する者たちが出てきました（コロサイ2：18）。昔、天使に凝った人たちが書いた聖書まがいのニセモノがあって、それに基づく小説や映画が、今も次々と出てきます。何年か前の『ダビンチコード』もそうですが、『エヴァンゲリオン』とか『エルシャダイ』とか聖書に出てくるギリシャ語やヘブライ語を使って、怪しげな天使たちや使徒たちが出てくるものがあります。

映画やアニメやゲームで終わってればいいのですが、元をたどってニセモノに親しくなると聖書から離れていきます。聖書から遠くなると悪魔に近くなります。悪魔は、見えない形で巧みに人間に罪を犯させて、墮落に誘い込むのです。地球に侵入したり攻撃したりという、派手なアクションはしません。宇宙人やエイリアンに化けるのではなく、光の天使に化けるのです。

## II 良い知らせとは

28節「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」「恵まれた方」とはマリアなので、「おめでとう、マリア」がラテン語の聖書で「アヴェ マリア」です。「アヴェ マリア」だけを取り出すと間違った方向に行く可能性がある所以要注意です。天使は続けて「主があなたと共におられる」と言いました。こちらの方が大事です。

マタイ福音書では、「主があなたと共におられる」。これが救い主の名前として告げられました。すなわち、「インマヌエル」＝「神われらと共にいます。」これを、主イエスは十字架と復活で成し遂げたあと、弟子たちに言われました。「私は世の終わりまで、いつも、あなたがたと共にいる」。主イエスが共にいますことこそが、心強い救いです。主が共にいなければ、私たちは、内側にも外側にも悪魔がいるのです。

だから、主が共におられるなら、30節「マリア、恐れることはない」。これは、大切な前置きです。そのあと告げられることには、恐るべきことがあるからです。

31節「あなたは身ごもって男の子を産む」。34節「どうして、そのようなことがありえましょうか。私は男の人を知りませんのに。」 受胎告知は、マリアにとって、身の危険が迫ることを含んでいました。婚約者のヨセフが「俺の子じゃあない」と訴えたら、姦淫の罪で処刑される可能性があったのです。だから、天使ガブリエルを通して、神は力強く宣言されました。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた」。

マタイ福音書を読むと、マリアの妊娠を知ったヨセフは悩んで、秘かに離縁しようと思いつめることになりました。それでもヨセフのセリフは聖書には一切ないので、ヨセフが思い悩んでどうしたか、セリフのいっぱいあるニセモノを書いた人が、やはり、出てきました。聖書に基づけば、マリアに告げられた31節の言葉だけが重要です。「その子をイエスと名付けなさい。」 これは、ヨセフにも告げられた天使の言葉と一致します。これでヨセフとマリアは一致することができました。

天使の告げたことの重大性は、次の32-33節にあります。「その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」 これは、旧約聖書で繰り返し告げられた神の契約です。ニセモノに基づく言葉ではなく、間違えようがないほど確かな、ダビデ王への神の契約です。ここからメシア預言やメシア詩編が生まれました。律法と預言者と詩篇に書いてある神の約束、これこそ、あなたがたに教えておいたことだと、復活の主イエスは弟子たちに言われました（ルカ24：27,44）。

「どうして、そのようなことがありえましょうか。」と不安なマリアに、天使は事実に基づく神の力を告げました。35-36節「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。」事実、「あなたの親類エリサベトも、年をとっていたのに、もう六ヶ月になっている。神にできないことは何一つない。」 もう六ヶ月になっている親類のおばあさんのことは、マリアも知っていたはずで、そしてそれは人間にはできないことだと、知っているはずで、だから38節「私は主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように」と、主に委ねました。

### Ⅲ 今朝、私たちも聴くべき受胎告知のメッセージ

35節「生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる」。イエスと名付けられた赤ちゃんは、もともと「聖なる者、神の子」です。なぜ、わざわざ「聖なる者、神の子と呼ばれ」なければならないのでしょうか。ここに、私たちに語られているメッセージがあります。それは、主イエスを信じる者が「聖なる者、神の子と呼ばれ」るためなのです。

神に背いて悪魔に魂を売った人間は、「汚れた者、怒りの子」です。神の怒りと罰を受ける、滅びの子であります。「イエス」とは「罪から救う」という意味だと、ヨセフに現

れた天使は告げました。その赤ちゃんは、神の御子でありながら、人間の姿で神の怒りと罰を引き受け、罪人を救うのです。人間の姿で復活して救い主となるのです。神と人との二性一人格で、改めて、全能の父なる神の右に座したもうたお方です。そこで、神の御子イエス・キリストによって救われた者は、「聖なる者、神の子」と呼ばれます。これ以上、清く高い呼ばれ方はありません。

罪からの救いは、神の御子が天から降ることから始まっています。だから「処女降誕」は、処女が子供を産めるかどうかと議論することに神のメッセージはありません。その問題は、「どうして、そのようなことがありえましょうか」と言ったマリアに、天使が言った言葉で終わりです。「神にできないことは何一つない。」

「処女降誕」のメッセージは、「降って誕生する」、「降誕」にあるのです。「いと高き方の子」が天から降って生まれたことに、神のメッセージがあるのです。私の罪に怒っておられる神が、救い主を私のそばまで降ろしてくださり、救いによって私を天の神のそばまで引き上げてくださるのです。そして、ただキリストのゆえに「聖なる者、神の子」と呼んでくださいます。ここに神の愛があります。この大いなる恵み、良い知らせを、天使は伝えに来ました。

だから受胎告知は、「神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された」という、神の愛がメッセージです。世は罪と汚れに満ちています。しかし、世はもともと神がお造りになった作品です。その「世」を、「神はその独り子をお与えになったほどに」改めて「愛された」のです。神の御子を信じる者が、神の子と呼ばれるためです。

それほどの価値を付けて、新しい誕生の祝福を示したのが「受胎告知」です。その赤ちゃんは、成人して十字架に掛かる定めにあります。主イエスの死と復活を信じる者は、罪を赦されて永遠の命に生まれ変わる者とされます。この新しい創造は、創造主なる神にだけできることです。

人間はいろんな仕方で人間を作り出すことが可能になりました。処女降誕どころか、一つの細胞からクローン人間を作り出すことも可能でしょう。しかし、罪のない人間を作ることはできません。聖なる神の子たちを造り出すのは、造り主にして救い主なる神だけができることです。

そもそも、この世に存在している物や生命の価値は、存在させてくださった神によって決まります。だから、存在しているだけでも、そこには神の御心と、神による価値があります。まして、神の独り子を与えられるほどに愛された者には、量りがたいほどの価値が与えられます。

私たち罪人は、神の子イエス・キリストを信じなければ、払いきれない代価を負っています。莫大なマイナスが、信じるだけで莫大なプラスに変わるとは、何と驚くべき神のわざでしょうか。また、主イエスを信じるだけで「聖なる者、神の子」と呼ばれるとは、何と驚くべき神の愛でしょうか。私たちは自分を誇ることなくただ信じること、これが、神の恵み深い栄光に満ちたメッセージです。世界的疫病の中でも、信仰のみによる救いは、ただ神の栄光を感謝して仰ぐことなのです。

きょうは第一主の日なので、本来なら聖餐式があるところです。聖餐式は、今生きておられる主イエスが、私たちの信仰を確かなものとするために制定されました。受胎告知で、神は、マリアの中に信仰を確かなものとされました。ヨセフにも、同じ信仰を確かな

ものとされました。私たちも、神がくださったキリストをいただいて、信仰を確かなもの  
としましょう。